

社会資本総合整備計画(第4回変更)

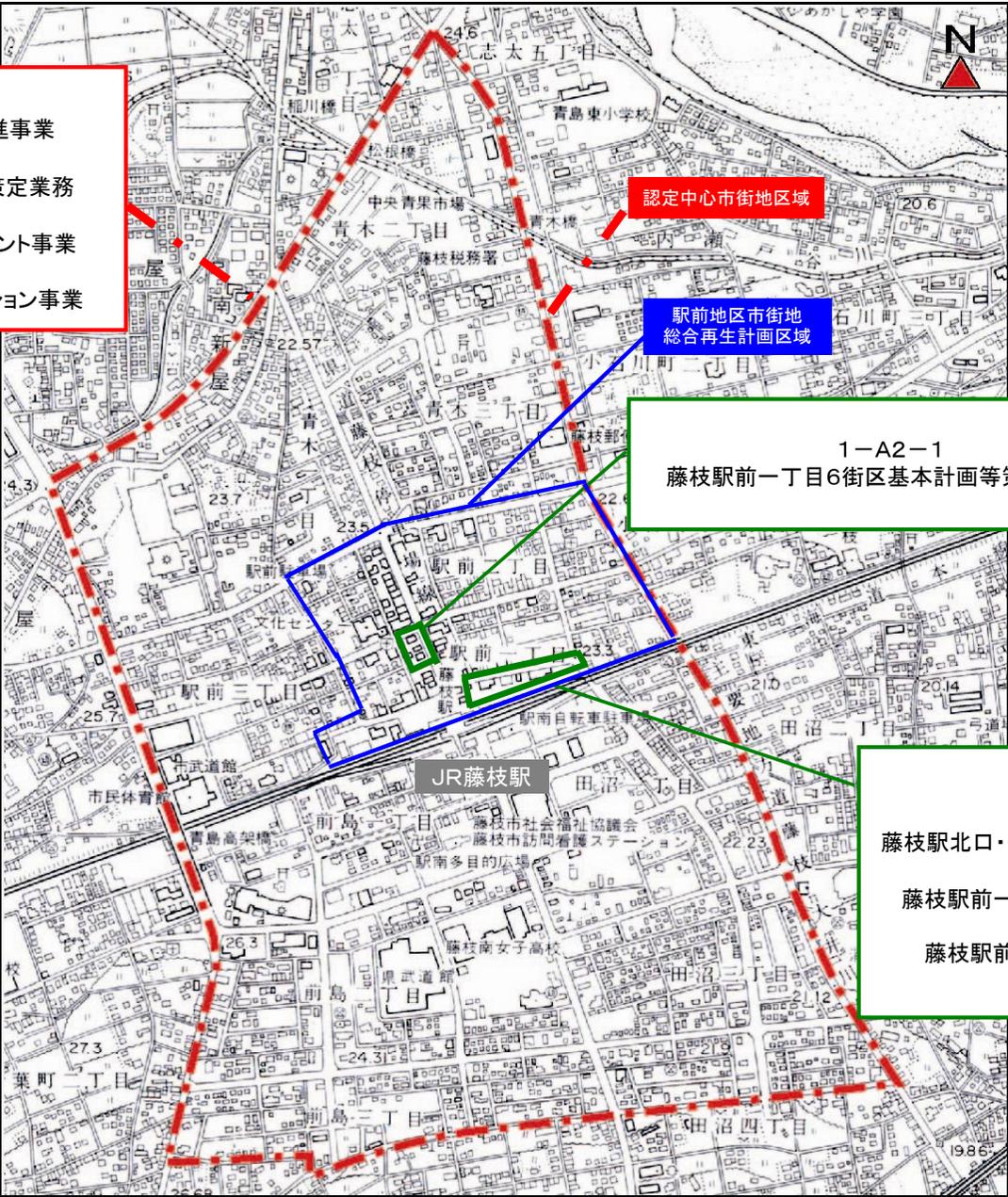
平成26年3月19日

計画の名称	1 藤枝型エコ・コンパクトシティ構築計画(街なか居住環境再生)																												
計画の期間	平成22年度～平成25年度(4年間)				交付対象	藤枝市																							
計画の目標	『少子高齢社会、低炭素社会に対応・貢献し、安全・安心に集い・住まい・交流するまちの実現』																												
計画の成果目標(定量的指標)	<ul style="list-style-type: none"> 藤枝市の中心市街地における歩行者通行量を5,509人(H21)から8,500人(H25)に増加させる 藤枝市の中心市街地における公共施設利用者数を685,666人(H20)から1,000,000人(H25)に増加させる 																												
定量的指標の定義及び算定式	<table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th colspan="3">定量的指標の現況値及び目標値</th> <th rowspan="2">備考</th> </tr> <tr> <th>当初現況値 (当初)</th> <th>中間目標値</th> <th>最終目標値 (H25末)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>中心市街地内の4地点(駅北2地点、駅南2地点)の休日1日あたり(12時間)の歩行者通行量を測定する</td> <td>5,509人(H21)</td> <td></td> <td>8,500人</td> <td></td> </tr> <tr> <td>中心市街地内の公共施設5施設(藤枝市文化センター、藤枝市民体育館、藤枝市武道館、静岡県武道館、藤枝市立駅南図書館)の年間利用者数を調査する</td> <td>685,666人(H20)</td> <td></td> <td>1,000,000人</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>												定量的指標の現況値及び目標値			備考	当初現況値 (当初)	中間目標値	最終目標値 (H25末)	中心市街地内の4地点(駅北2地点、駅南2地点)の休日1日あたり(12時間)の歩行者通行量を測定する	5,509人(H21)		8,500人		中心市街地内の公共施設5施設(藤枝市文化センター、藤枝市民体育館、藤枝市武道館、静岡県武道館、藤枝市立駅南図書館)の年間利用者数を調査する	685,666人(H20)		1,000,000人	
	定量的指標の現況値及び目標値			備考																									
	当初現況値 (当初)	中間目標値	最終目標値 (H25末)																										
中心市街地内の4地点(駅北2地点、駅南2地点)の休日1日あたり(12時間)の歩行者通行量を測定する	5,509人(H21)		8,500人																										
中心市街地内の公共施設5施設(藤枝市文化センター、藤枝市民体育館、藤枝市武道館、静岡県武道館、藤枝市立駅南図書館)の年間利用者数を調査する	685,666人(H20)		1,000,000人																										
全体事業費	合計(A+B+C)	173百万円	A	142百万円	B	C	31百万円	C/(A+B+C)		17.92%																			
交付対象事業																													
A 基幹事業																													
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	要素となる事業名(事業箇所)	事業内容・規模等	事業実施期間(年度)					全体事業費(百万円)	備考															
								H22	H23	H24	H25	H26																	
1-A1-1	住宅	一般	藤枝市	直/間	市/組合	藤枝駅北口・日の出町地区基本計画等策定等事業	計画コーディネート						47																
1-A1-2	住宅	一般	藤枝市	間接	組合	藤枝駅前一丁目8街区基本計画等策定等事業	計画コーディネート						3																
1-A1-3	住宅	一般	藤枝市	間接	組合	藤枝駅前一丁目8街区市街地再開発事業	敷地の共同化・1.2ha						57																
1-A2-1	住宅	一般	藤枝市	直/間	市/組合	藤枝駅前一丁目6街区基本計画等策定等事業	計画コーディネート						35																
合計												142																	
B 関連社会資本整備事業																													
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別等	要素となる事業名	事業内容	市町村名	事業実施期間(年度)					全体事業費(百万円)	備考													
										H22	H23	H24	H25	H26															
合計																													
番号	一体的に実施することにより期待される効果											備考																	
C 効果促進事業																													
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別等	要素となる事業名	事業内容	市町村名	事業実施期間(年度)					全体事業費(百万円)	備考													
										H22	H23	H24	H25	H26															
1-C-1	住宅	一般	藤枝市	直接	藤枝市	-	住環境再生まちづくり推進事業	重点地区啓発、駅前地区総合再生会議等	藤枝市						7														
1-C-2	住宅	一般	藤枝市	直接	藤枝市	-	エコ・コンパクトシティ構想策定業務	構想案の企画立案及び調整等	藤枝市						6														
1-C-3	住宅	一般	藤枝市	直接	藤枝市	-	藤枝駅前地区総合マネジメント事業	エリアマネジメントの推進及び啓発・フォローアップ等	藤枝市						3														
1-C-4	住宅	一般	藤枝市	直接	藤枝市	-	中心市街地タウンプロモーション事業	情報発信及び道路空間活用事業	藤枝市						15														
合計												31																	
番号	一体的に実施することにより期待される効果											備考																	
1-C-1	市街地総合再生計画に位置づける重点地区のまちづくり啓発・研究や各地区関係者による総合再生マネジメントを行い、安心に生活できる居住環境の改善や環境(エコ)に貢献するまちづくりを推進する。																												
1-C-2	認定中心市街地区域での「エコ・コンパクトシティ」実現のため、中心市街地活性化協議会と共に構想の企画立案及び調整等を行なうことにより環境(エコ)に貢献するまちづくりを推進する。																												
1-C-3	市街地総合再生計画に位置づける重点地区のまちづくり啓発・研究や駅前地区全体のエリアマネジメントを推進し、高品質な都市環境と都市サービスが提供されるまちづくりを推進する。																												
1-C-4	広域的なまちの情報発信と市民活動・交流の場の創出による志太榛原地域の生活都心としての定住人口・来訪人口の増加。																												

社会資本総合整備計画（地域住宅支援）

計画の名称	1 藤枝型エコ・コンパクトシティ構築計画（街なか居住環境再生）	交付対象	藤枝市
計画の期間	平成22年度～平成26年度（5年間）		

- 1-C-1 住環境再生まちづくり推進事業
- 1-C-2 エコ・コンパクトシティ構想策定業務
- 1-C-3 藤枝駅前地区総合マネジメント事業
- 1-C-4 中心市街地タウンプロモーション事業



- 1-A2-1 藤枝駅前一丁目6街区基本計画等策定等事業

- 1-A1-1 藤枝駅北口・日の出町地区基本計画等策定等事業
- 1-A1-2 藤枝駅前一丁目8街区基本計画等策定等事業
- 1-A1-3 藤枝駅前一丁目8街区市街地再開発事業

事前評価チェックシート

市町村名 藤枝市

計画名 藤枝型エコ・コンパクトシティ構築計画(街なか居住環境再生)

I. 目標の妥当性

チェック欄

①基本方針・上位計画等との適合等	
1) 基本方針と適合している。	レ
2) 上位計画等との整合性が確保されている。 (該当するものに○) ①国土形成計画全国計画 ②国土形成計画広域地方計画、北海道総合開発計画又は沖縄振興計画 ③社会資本整備重点計画 4. 環境基本計画 5. その他(以下の空欄に計画名を記載)	レ
②目標と広域的特定活動及び拠点施設との関係	
1) 広域的特定活動により、目標達成の可能性が高い。	レ
2) 広域的特定活動の拠点としての拠点施設の位置づけが妥当である。	レ

II. 計画の効果・効率性

③目標と事業内容の整合性等	
1) 目標と指標・数値目標の整合性が確保されている。	レ
2) 指標・数値目標と事業内容の整合性が確保されている。	レ
3) 指標・数値目標が分かりやすいものとなっている。	レ
4) 拠点施設・拠点施設整備事業と基幹事業の一体性が確保されている。	レ
5) 地域資源の活用やハードとソフトの連携等を図る計画である。	
④事業の効果	
1) 十分な事業効果が確認されている。	
2) 他の事業との連携等による相乗効果・波及効果が得られるものとなっている。	レ

III. 計画の実現可能性

⑤計画の具体性	
1) 拠点施設で広域的特定活動が実施される見込みが高い。	レ
2) 拠点施設整備を新たに行う場合、その蓋然性が高い。	
⑥円滑な事業執行の環境	
1) 民間事業者等の多様な主体との連携が図られている。	
2) 事業実施のための環境整備が図られている。	レ